診療技術部門新人教育プログラム

A．初年度カリキュラム

4月1日採用時に約一週間の新入職員研修があります。全職種共通ですが診療技術部門はそのうち2日間参加していただきます。

1．　新入職員研修２日間の主な内容（診療技術部門）

新入職員研修（診療技術部門）共通
医療安全、感染対策の初期講習（全職種共通） 医療安全管理室、感染対策室の専従スタッフからインシデント、アクシデント発生時の対応や感染性廃棄物の取り扱い、針刺し事故時の対応などの講義を受けます。
患者の急変対応（診療部各科室共通） 患者急変時の応急処置、応援スタッフの要請などの実習を受けます。
電子カルテの操作説明（診療部各科室共通） 電子カルテの基本操作と各科室独自のシステムの操作をシステムエンジニアから説明してもらいます。

2．　各科室の基本業務の習得

初年度の約半年間から1年間かけて一人で当直業務ができるように実際業務の修練に努めてもらいます。

研修プログラム（1年目）	
期間	内容
4月	新入職員研修　・　検体検査受付業務
5月	生化学　・　血液　・　凝固
6月	尿一般
7月	輸血　・　他部署見学
8月	細菌　・　病理
9月	生理機能検査

・約6か月間は検査科全体のローテーション研修を行う
・6か月以降は、配属された部門でさらなる習熟を目指す
・中心となる分野での認定取得、学会発表等を行う
・部内での短期ローテーションは随時行う

3．　臨床研究、業績作りの教育

研究テーマの立案、患者データの分析、個人情報保護などについて院内・院外講師の指導を受けます。

令和5年4月1日現在

４．　各科室において臨床研究や各種研究会での発表に向けていろいろな研鑽を積んでもらいます。尚、初年度期末の成果発表会で新入職者の１年間の業務報告を発表してもらいます。（各科室共通）

５．

Ｂ．２年度以降の研修のカリキュラム（各科室）

初年度研修終了後各科室で複数の業務をローテーションしたり、特定の専門業務の習得に努めてもらいます。

Ｃ．各専門領域での認定資格の取得やリーダー研修などのプログラム（診療部共通）

施設認定や診療報酬加算に必要な資格などは病院全体で必要な人数などを検討し、個人の希望も考慮し取得に向けた計画を立てます。また各職種の学会などで主催する研修会や国家公務員共済組合連合会が行う研修会にも参加する機会があります。

取得資格

名称	認定機関
超音波検査士（消化器）	日本超音波医学会
超音波検査士（循環器）	日本超音波医学会
超音波検査士（体表）	日本超音波医学会
救急検査認定技師	日本臨床検査技師会
消化器内視鏡検査技師	日本消化器内視鏡学会
細胞検査士	日本臨床細胞学会
二級臨床検査士（微生物）	日本臨床検査医学会
日本臨床救急医学会　評議員	日本臨床救急医学会

・また、NST（栄養サポート）、MRM（リスクマネージメント）、ICT（感染対策）などのチームにも参加し院内外、多職種での活動に参加しています。

D．学会活動の支援

・学術集会への参加
・研究会等での発表や論文作成指導
・臨床研究の基礎的な指導

発表演題

演題名	学会名	年度
当院における５年間の血液培養実施状況と精度向上のための取り組み	第 30 回　日本環境感染学会	26
心原性心停止からの社会復帰率向上への取り組み	第 18 回　日本臨床救急医学会	27
検査技師による救急支援～事前アンケート調査より～	第 19 回　日本臨床救急医学会	28
検査技師による救急支援業務について	第 65 回　日本臨床検査医学会総会・学術集会	28
血液培養より Pseudomonas oryzihabitans を分離した症例	第 28 回　日本臨床微生物学会総会・学術集会	28
運動負荷によるアンモニアの変動	第 1 回　大臨技医学検査学会	28
救急隊との情報交換会についての報告	第 20 回　日本臨床救急医学会	29
救急初療現場で検査技師に必要なスキル	第 21 回　日本臨床救急医学会	30
救急室と検査室で JTAS を共有する効果について	第 22 回　日本臨床救急医学会	R1
コメディカルが救急初期診療に参画する意義	共済医学会（札幌）	R1
WSI を利用した術中遠隔細胞診	共済医学会（札幌）	R1
救急ドラマには出てこない検査技師診断を支える POCT	第 30 回　生物試料学会　POC セミナー	R1
中規模病院の精度管理の実際について	第 70 回　日本医学検査学会	R3
「あなたの知らないメディカルスタッフの世界～外傷症例から考える～」（シンポジスト）	第 122 回　近畿救急医学研究会	R3

論文等

タイトル	氏名	学会
心原性心停止からの社会復帰率向上への取り組み	薮　圭介	日本臨床救急医学会
救急現場における心電図の読み方と心エコーの活用方法	薮　圭介	第 37 回　緊急検査研究会
救急初療現場で協働するために必要な検査技師のスキル	薮　圭介	第 21 回　日本臨床救急医学会

E．他施設への研修出向

連合会病院を中心に１年から数年の短期研修に参加していただきます。

令和５年４月１日現在